

第19回CN専門委員会 次第

1. 進捗確認【資料配布】
2. 2022年度 CNに関するアンケート回答状況【中間報告】
3. CJPT※との連携活動【報告】
4. CN勉強会 実施状況と今後の進め方【審議】
5. 2023年度 CN専門委員会活動（案）【審議】

※CJPT : Commercial Japan Partnership Technologies

2023.2.28

車工会 事務局

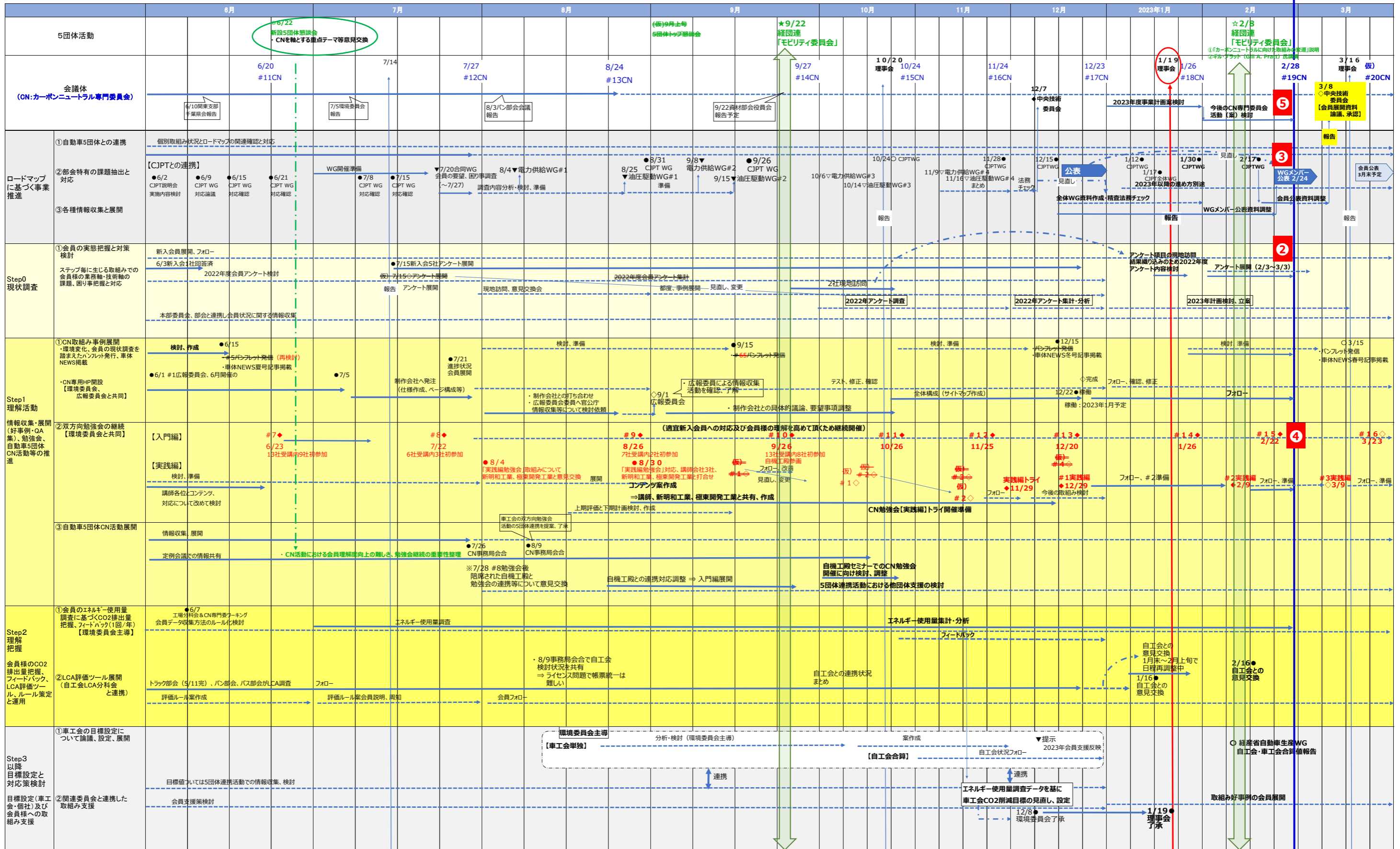
カーボンニュートラル専門委員会 出欠一覧：第19回 2023年2月28日(火) 13:00~14:30

	委員会役職	氏名	所属部会・役職	会社名	役職	出欠
1	委員長	宮内 一公	(会長)	トヨタ自動車東日本(株)	取締役社長	Web
2	副委員長	田沼 勝之	(副会長)	新明和工業(株)	取締役 専務執行役員	代理・Web
		代)長田 善彦	—	新明和工業(株)	特装車事業部 品質保証部長	
3		矢野 彰一	(副会長、パン、九州支部長)	(株)矢野特殊自動車	取締役社長	Web
		柴田 和典	—	(株)矢野特殊自動車	取締役 品質保証部長	Web
4		吉村 東彦	小型部会長	日産車体(株)	取締役社長	Web
5	委員	増井 敬二	(副会長)	トヨタ車体(株)	取締役社長	代理・Web
		代)鈴木 真也	—	トヨタ車体(株)	総合企画部 副参事	
6		布原 達也	特装部会長	極東開発工業(株)	取締役社長	欠席
7		森 孝義	特種部会長	中京車体工業(株)	取締役社長	
8		山田 和典	トラック部会長	山田車体工業(株)	取締役社長	Web
9		田中 俊和	パン部会長	日本フルーフ(株)	代表取締役社長	代理・Web
		代)山本 朝久	—	日本フルーフ(株)	海外業務部長	
10		辻 和弘	トレーラ部会長	東邦車輛(株)	取締役社長	代理・Web
		代)亀田 輝仁	—	東邦車輛(株)	常務取締役	
11		石川 哲朗	バス部会長	ジェイ・バス(株)	取締役社長	欠席
12		小澤 賢記	資材部会長	ゴールドキング(株)	取締役社長	Web
13	アドバイザー	木村 昌平	(相談役)	車体工業会	相談役	Web
14	事務局	鈴木 良規		トヨタ自動車東日本(株)	第1 開発領域長	Web
15		富澤 浩紀		トヨタ自動車東日本(株)	プロジェクトリーダー	Web
16		岡本 哲		トヨタ自動車東日本(株)	総務部 総合企画G GM	Web
17		松井 賢一		トヨタ自動車東日本(株)	P E・環境部 部長	Web
18		吉田 量年		車体工業会	専務理事	Web
19		小森 啓行		車体工業会	業務部長	Web
20		森田 敦次		車体工業会	業務部 次長	Web

カーボンニュートラル取組み(2022年6月～2023年3月)

【2 3 4 5】: # 19委員会 次第個別報告事項

現在

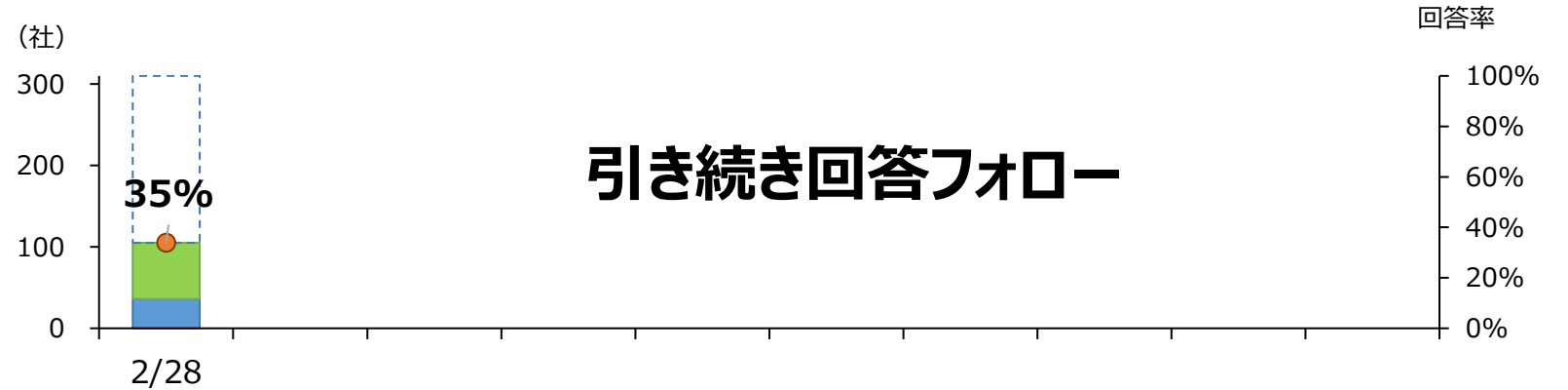


2022年度 CNアンケート調査状況 ('23/2/28時点)

1. 回答率推移

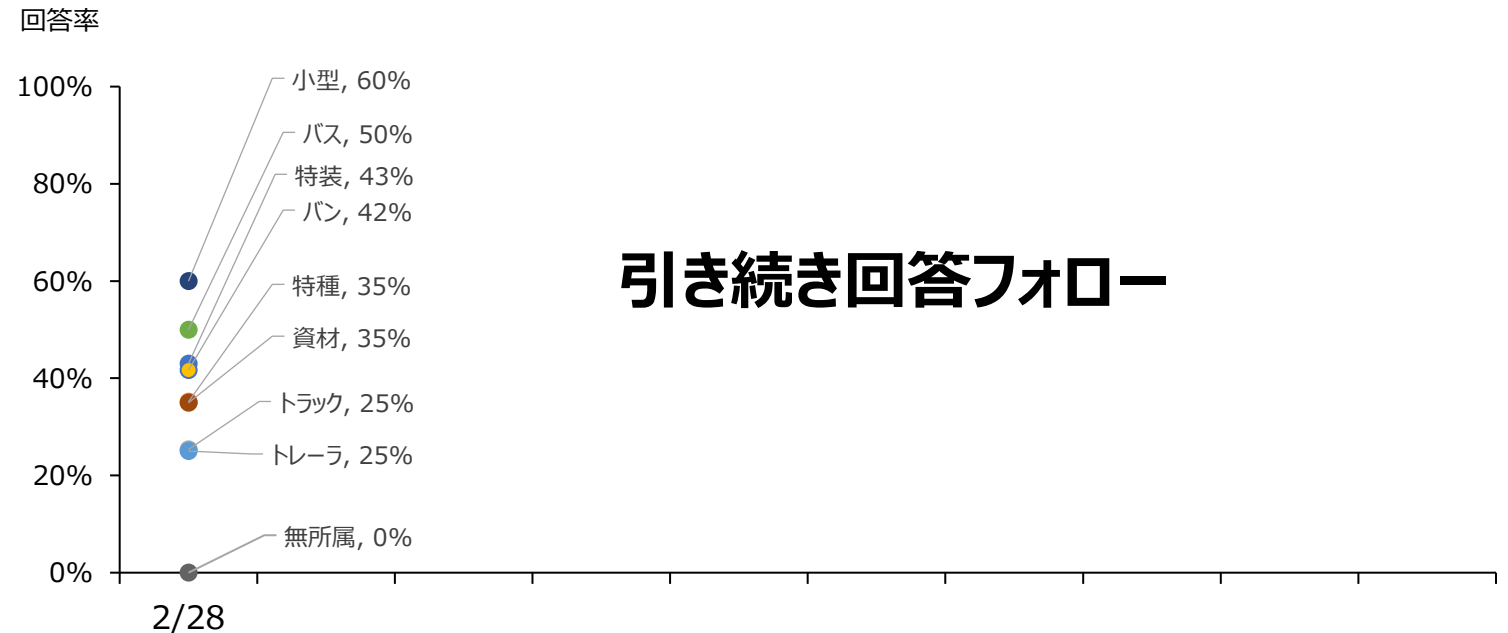
	依頼※	回答	回答率
全会員	310社	107社	35%
正会員	207社	71社	34%
準会員	103社	36社	35%

※他団体に主所属、辞退の会員8社を除く)



部会別推移

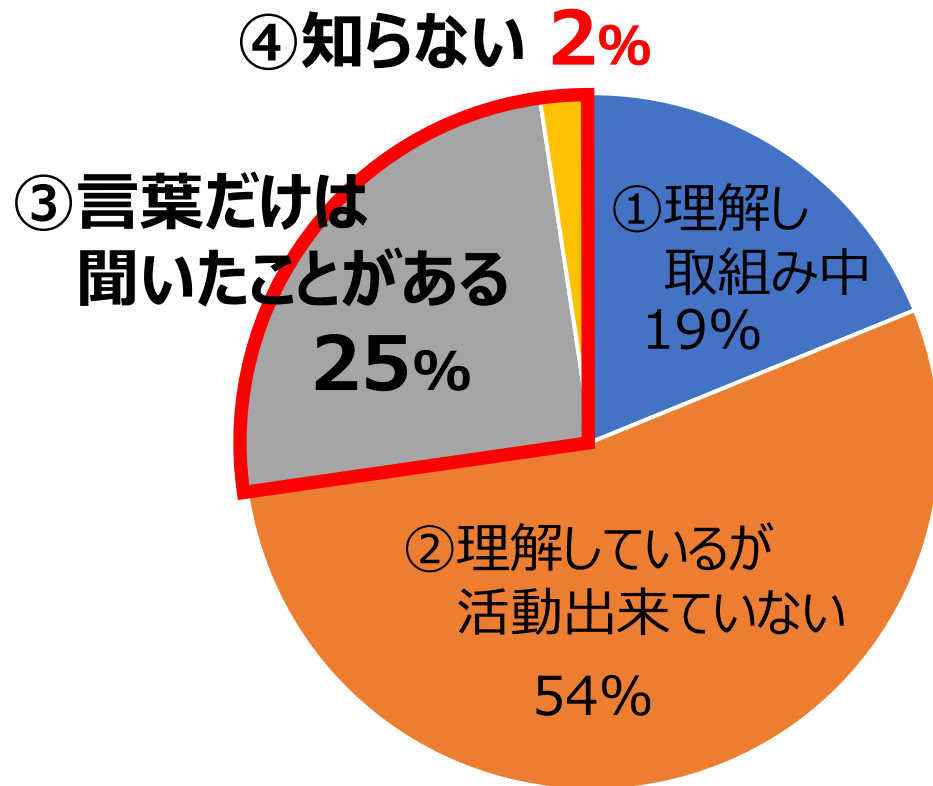
会員数が少ない順	依頼※	回答	回答率
バス部会	2社	1社	50%
トレーラ部会	4社	1社	25%
小型部会	5社	3社	60%
バン部会	24社	10社	42%
特装部会	42社	18社	43%
特種部会	54社	19社	35%
トラック部会	75社	19社	25%
資材部会	103社	36社	35%
無所属	1社	0社	0%



2. アンケート集計（中間）

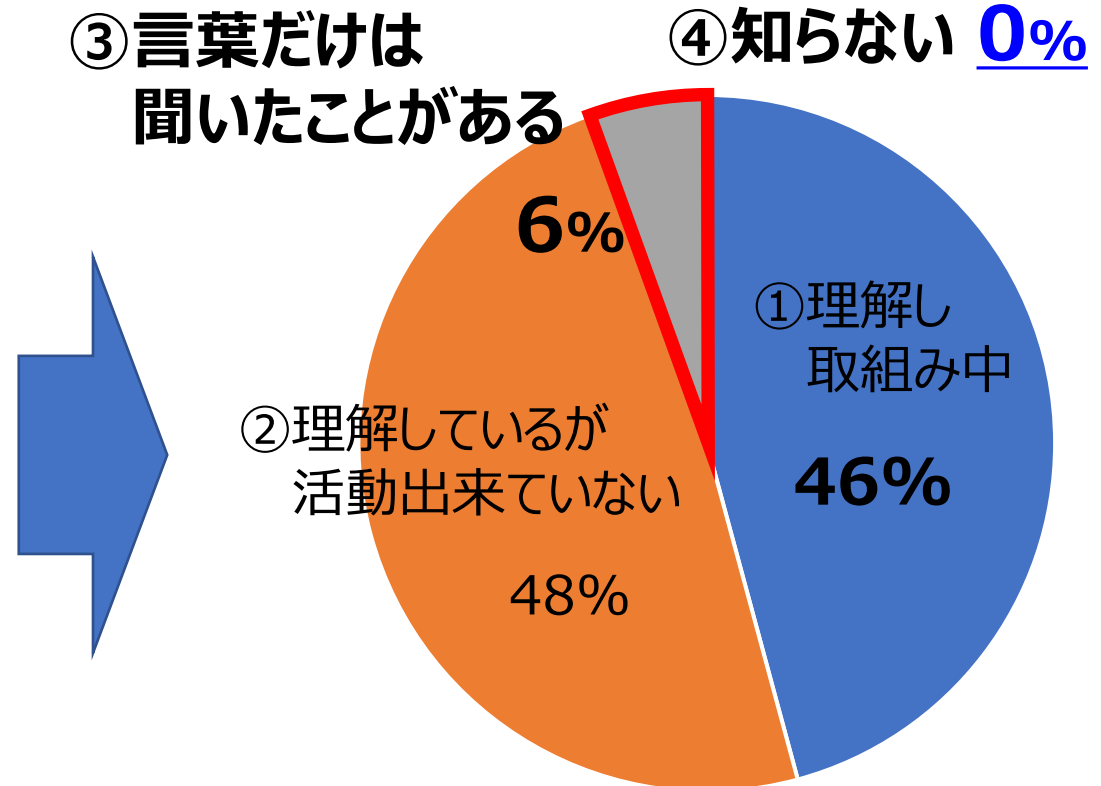
①CN理解度 [Q1 カーボンニュートラルについて知っていますか？]

2021年度 ('21/7)



回答数：292社

2022年度 ('23/2)

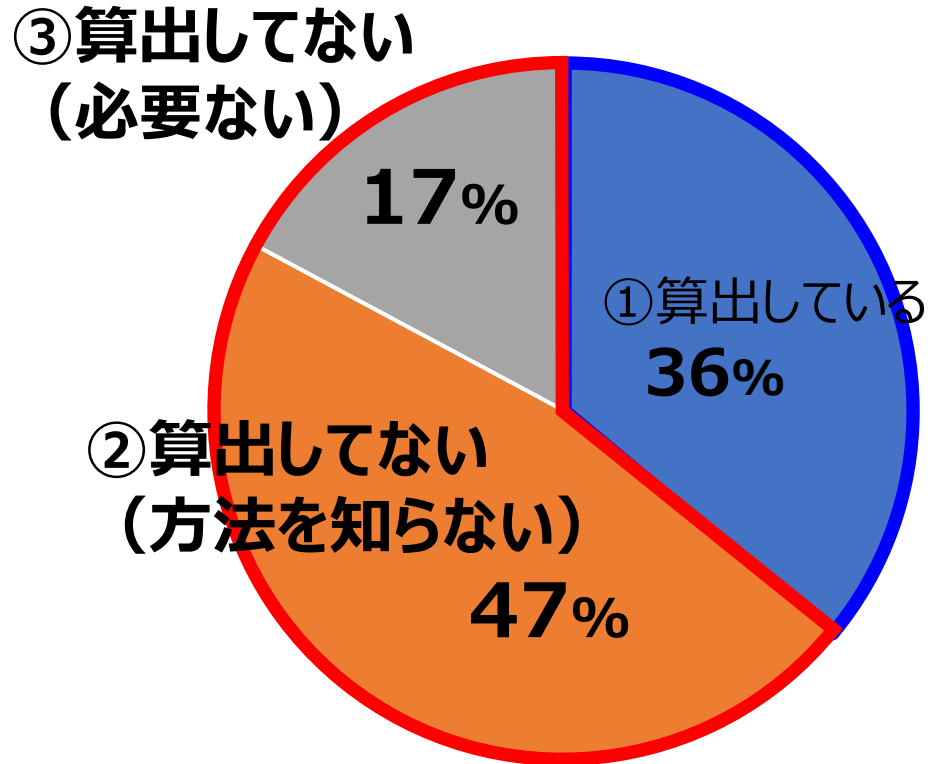


回答数：107社

2. アンケート集計（中間）

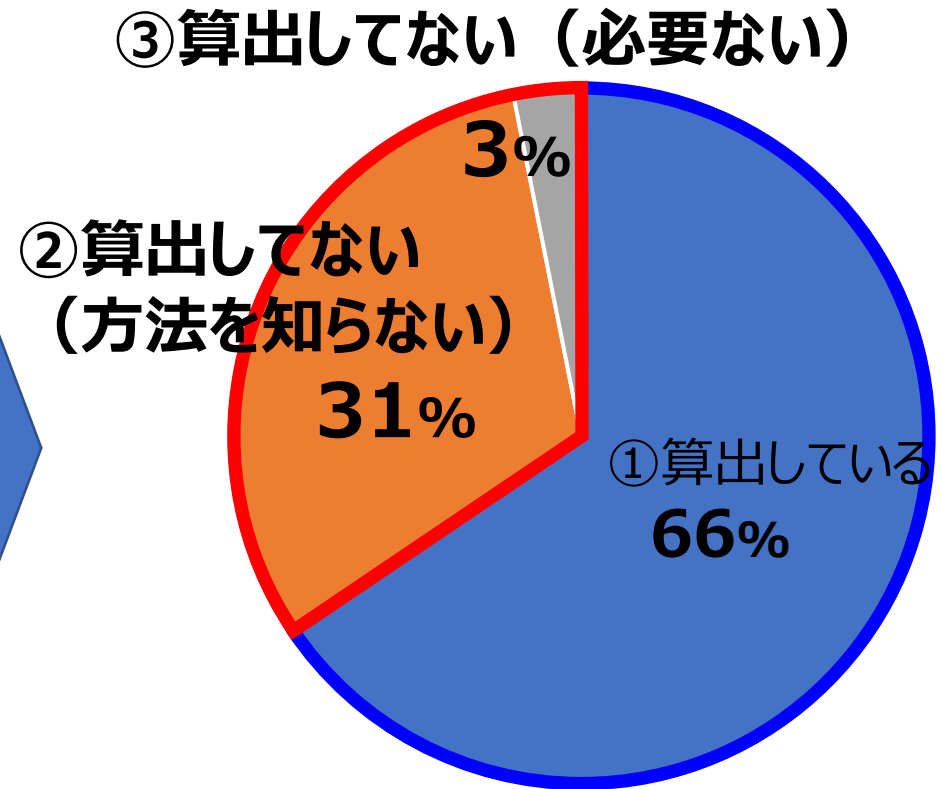
②CO₂把握 [Q4 CO₂排出量を算出していますか？]

2021年度 ('21/7)



回答数：233社

2022年度 ('23/2)



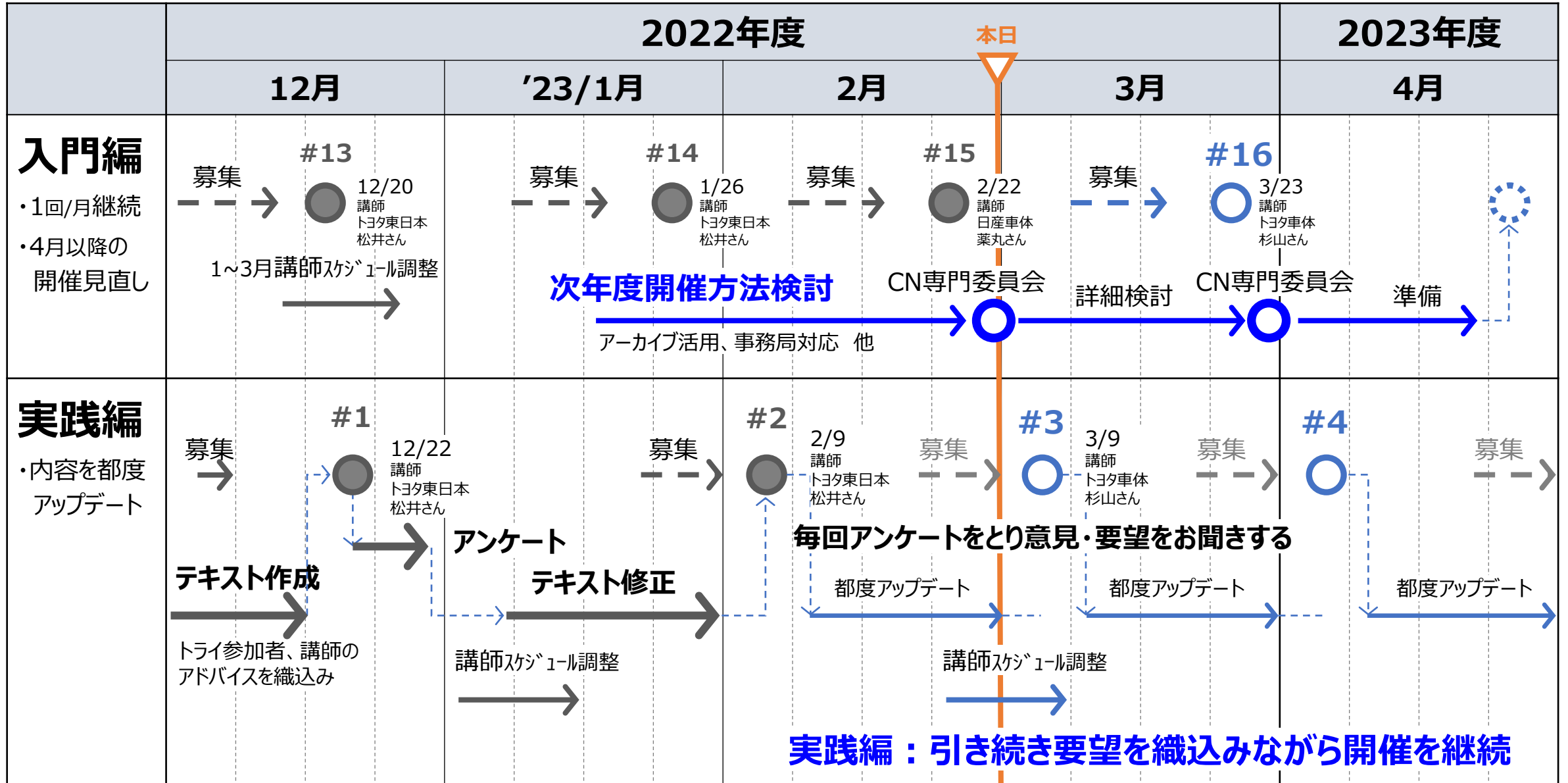
回答数：96社

CN勉強会

実施状況と今後の進め方

2023年 2月28日
CN専門委員会 事務局

1. 勉強会 実施状況



2. 【入門編】開催実績

1) 開催 計 **16回実施** (第1~15回、トラック部会)
'21/10~'23/2

2) 講師 小型部会の会員会社

- ・トヨタ車体 杉山様 (環境委員会 工場環境分科会 分科会長)
- ・日産車体 薬丸様 (環境委員会 工場環境分科会 副分科会長)
- ・トヨタ東日本 松井様 (元 環境委員会 工場環境分科会 委員)

3) 参加 **105社 402名**
+日本自動車機械器具工業会
(会員企業**8社 18名** & 事務局**2名**)

車工会の**33%**の会員様に受講いただいた

(105社/317社)

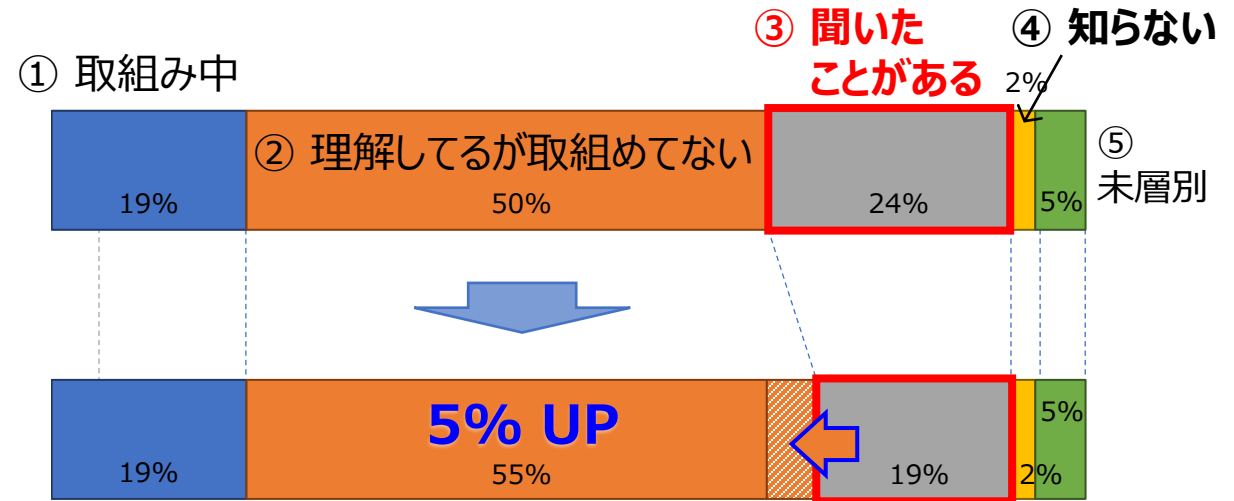
3. 【入門編】受講による理解度の向上（基礎知識を正しく理解）

勉強会：会員が基礎知識を正しく理解することで、社内のCN活動推進のキッカケとしていただく

CNの基礎知識の習得状況

'23/2/28時点 計105社（402名）が受講

	層別※	受講前	受講	受講後
理解済	① 理解し取組み中	58	26	58
	② 理解してるが取組めてない	155	62	170 UP
受講対象	③ 聞いたことがある	73	15	58
	④ 知らない	7	0	7
	⑤ 未層別（辞退、退会他）	15	2	15
合計		308	105	308

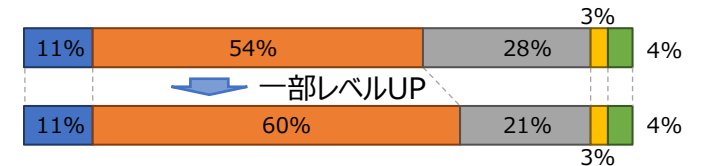


(参考)

大企業



中小企業



※'21/7実施のCNアンケートより層別

22年度CNアンケートで再確認必要

【入門編】の継続開催

受講者から好評を得ている

- CN取組みのキッカケとして有効
- 分かり易い内容でCN理解できる
- 社内の教育に有効

特に受講いただきたい会員様※には
引き続き受講いただけるように声掛け

※CN理解度「③聞いたことがある程度」「④知らない」の会員様

ただし

開催頻度の見直し

- 講師は小型部会の3名に加え事務局から1名 計4名で対応
- 3ヶ月に1回の開催に変更



追加

(1) 動画配信（入門編の解説） HP活用

- 資料の配信だけでなく、正しく理解ができるように勉強会動画を配信することで知識向上・意識啓発を図る

- ◇ 自由な時間に視聴可能
- ◇ 理解出来るまで何度も確認可能
- ◇ 不明点は問合せ（HP→事務局へメール）

(2) 説明会(セミナー)の実施

- 具体的な事例（例えば、見える化）に特化した内容として取組みの参考とする
- 講師：中小機構や機器メーカー等の外部を検討中

具体的な実施内容は、次回のCN専門委員会でご提案

2023年度 CN専門委員会活動（案）

2023.2.28
車工会 事務局

1. CN専門委員会（2021/7/15 第262回理事会審議、了承）

1) 目的と役割

- ① CNに向けたビジョンの明確化、「CN対応取組み」の方針、進め方を論議、決定。
- ② 「CN対応の取組み」における、電動車、生産領域への対応と「中小会員支援策」の連携を図り、全会員の確実な対応を推進、フォロー。

2) 開催頻度 …… 原則として、**1回/月**

（出席不可の場合は代理出席（関係委員会、各部会）をお願いいたします。）

2. 2021~2022年度活動の振り返り

環境委員会主導

中央技術委員会主導

	2021年度										2022年度											
専門委員会	7 ●7/15 専門委員会 設置	8 ① 8/27	9 ② 9/16	10 ③ 10/7	11 ④ 11/4	12 ⑤ 12/9	1 ⑥ 1/11	2 ⑦ 2/9	3 ⑧ 3/7		4 ⑨ 4/7	5 ⑩ 5/16	6 ⑪ 6/20	7 ⑫ 7/27	8 ⑬ 8/24	9 ⑭ 9/27	10 ⑮ 10/24	11 ⑯ 11/24	12 ⑰ 12/23	1 ⑱ 1/26	2 ⑲ 2/28	3 ⑳3/31
Step0 現状調査	7/16 ← 10/4 → 会員アンケート実施										CN (産廃) 現地支援 5社 意見交換会【環境委員会】 9/16 10/11,13 11/21,22 2/3 3/3 ← → 会員アンケート実施											
Step1 理解活動	2021年度 入門編勉強会 (4回+1回) パンフレット ①8/6 展開 ②8/31 車体NEWS掲載 秋号9/15 5団体活動										6/22 5団体懇談会 2022年度入門編勉強会 (12回+1回) 夏号6/15 ★自機工との個別連携 7/28意見交換 ⇒ 9/26勉強会から参加、継続中 ・11/28自機工会員対象勉強会実施											
Step2 理解把握	【簡易版】CO2排出量算出ツール提供 エネルギー排出量調査 及びCO2排出量集計 12/15 1/31 LCA評価 3/10自工会 との意見交換										CO2排出量調査 【環境委員会】 委託7社 7/6 7/22 フォロー、まとめ その他会員 8/12 2/6 会員専用HPで 2022年度CO2 排出量調査結果公表 トラック、パン、バス部会から架装材料情報を提供 ⇒ 自工会がLCA評価のため整理 ⇒ 2023年度情報共有し車工会LCA評価に活用検討											
Step3 目標設定と 対応策検討	●10/7 委員会にてCO2排出量 車工会目標の考え方を論議										CO2排出量 車工会目標見直し 【環境委員会】 検討 → 準備 → 3/15 車体NEWS 春号で公表 ◆12/8 車工会のCO2排出量 2030年度目標値を #3環境委員会で審議、決定 ⇒ 12/20専門委員会です承											
	3/16 CJPT連携活動【中央技術委員会】										電力WG ①8/5 ②9/8 ③10/6 ④11/9 油圧WG ①8/20 ②9/15 ③10/14 ④11/16 7/20合同WG 2/24 WGメンバーに 情報公表 1/17全体WG											

3. 2023年度 CN活動計画 (1/26CN専門委員会提案)

環境委員会主導

中央技術委員会主導

推進項目	実施内容	2023年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024年 1月	2月	3月	
Step 0 現状調査	(1) 業務軸・技術軸の課題、 困り事把握	アンケート結果を分析 会員取組み状況確認 アンケートは 3月回収	分析、層別	現地確認・意見交換での現状把握と課題洗い出し								アンケート調査、解析		
Step 1 理解活動	(1) 情報収集・展開 (専用HPの活用) (2) 勉強会 (3) 自動車5団体CN活動 (4) モビリティ委員会活動	CN取組み事例展開 ※専用HPを活用し有益な情報発信												
		勉強会は運営方法を再検討し継続 (入門編・実践編)												
		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
		・自動車5団体CN活動 (Scope1,2及びScope3推進支援、経営関連情報)										・モビリティ委員会活動 (課題や解決策、政府絵の提案他)		
		不定期的のため都度対応												
Step 2 理解把握	(1) CO2排出量把握、 フィードバック (2) LCA評価ツール、 ルール策定	調査準備 → 調査期間 → 自工会連携 → フィードバック (HP活用)												
		自工会連携 情報収集・展開	車工会内への展開検討				展開・フォロー							
Step 3 目標設定と 対応策検討	(1) 目標設定 (個社) (2) 取組み支援	車工会目標の周知 → 個社目標の検討支援 (活動項目、対応案支援) → 活動状況フォロー												
		事例収集		会員展開 (HP活用)										
		支援先の検討・調整			現地訪問による意見交換会・支援活動の実施 (5~6社)									
		電動化、コネクテッドに関する技術課題への対応 (CJPT、自工会との連携と情報展開)												

4. 2023年度 CN活動進め方

1) 2022年度までの活動

<考え方>

<主な活動>

<ul style="list-style-type: none"> ● CNは生産領域、技術領域での取組み 	⇒ 環境委員会、中央技術委員会との連携 による活動推進
<ul style="list-style-type: none"> ● 全会員様が一体となって取り組む (1社も取り残さない) 	⇒ ・会員様各社のCN取組み始めていただくため、 現状、及び課題把握のためアンケート を実施 (2021年度皆様のご協力で100%回収)
<ul style="list-style-type: none"> ● 会員支援策の実施 	⇒ ・アンケート結果を踏まえ、 CNを正しく理解いただくため「入門編勉強会」を開催、更にCNに取り組む参考としていただく「実践編勉強会」もスタート ・ 中央業務委員会として会員様の困り事収集、対応検討 ・ 環境委員会と連携し現地訪問による意見交換実施 ・ 情報発信強化として、CN専用HPを稼働

- ↓
- CN専門委員会委員各位の協力により、**本部委員会、各部会活動と連携し、活動項目を着実に推進**
 - 活動は関係委員会委員の理解、協力を得て、**それぞれの事業計画に織り込まれ、定常業務またはWG活動として推進、フォロー**

2) 2023年度CN活動

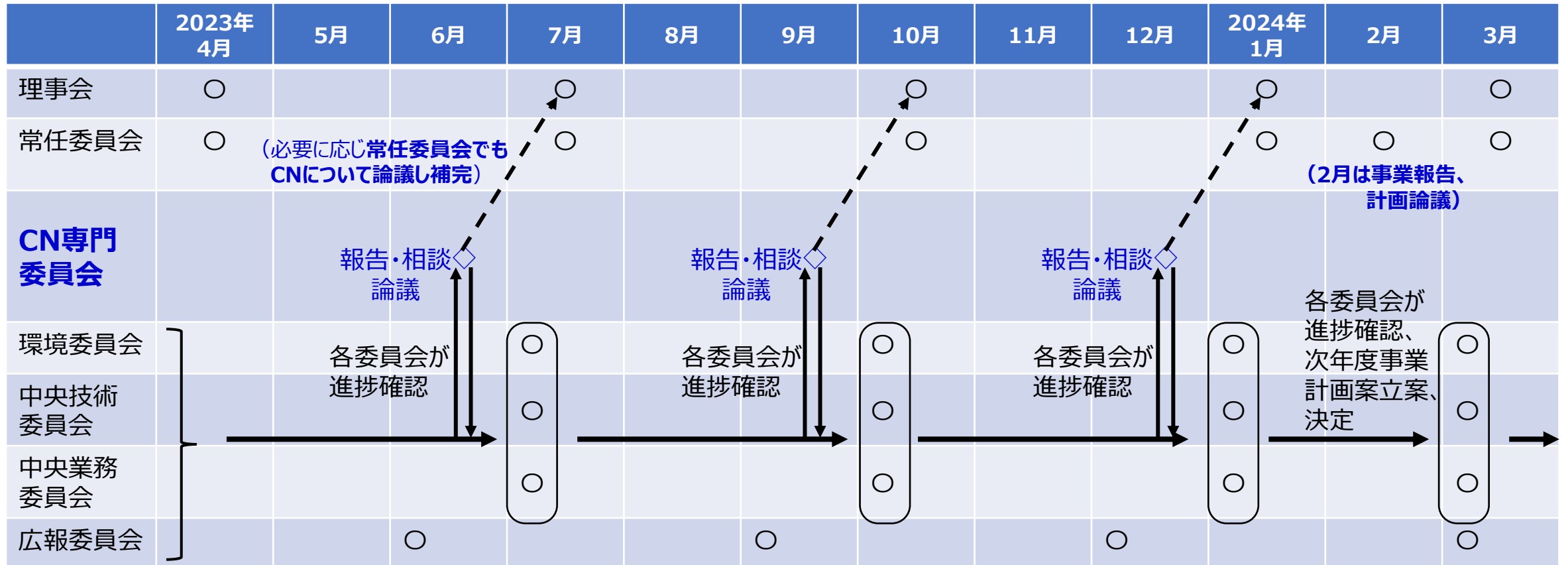
2022年度までのCNに向けた専門委員会、本部委員会等の活動状況を踏まえ、今後の具体的活動推進を考慮し、2023年度CN活動は、次の通りとしたい。

- ① **CN専門委員会は、設置の目的である、方針、CNの進め方の論議、方向づけを行い、関係委員会と共有**
- ② **具体的活動は、各委員会が主導し推進し、進捗、課題、結果をCN専門委員会と共有（報告、相談し論議）**
- ③ **対外的取組みでの「5団体連携活動」、「モビリティ委員会対応」等は、CN専門委員会が引き続き対応**
- ④ **CN専門委員会体制（メンバー）は、現状に準じた考え方により構成**
- ⑤ **CNに関しては、必要な場合は、常任委員会でも論議**

4. 2023年度 CN活動進め方

3) 会議体年間スケジュールとCN対応

- 「CN専門委員会」は、原則 **3回/年**とし、関係委員会から報告を受け、論議、確認
- 開催は、**本部委員会開催前**とし、**CN専門委員会の意見等を本部委員会の事業進捗・計画に織り込みいただく**（下表は各本部委員会実施後、理事会開催までの間で設定）



（広報委員会は、車体NEWS発行との関係で開催日程が、他の本部委員会と異なるものの、活動内容を報告、共有）